

同時進行型



香川県丸亀市立城北小学校
木村 史子

実践テーマ

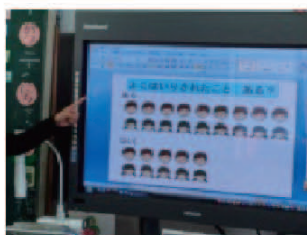
3つの話し方の映像を見ながら、言われた時の気持ちを考えることで、相手も自分も気持ちよくなる言い方（しずかちゃんの話し方）を知る。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 日常の自分の言い方を振り返ったアンケートをもとに、課題意識を持たせる。
- 〈展開〉 3つの話し方の動画を見て、アニメのキャラクター（A：相手の気持ちを考えない話し方、B：自分の気持ちをおさえた話し方、C：お互いの気持ちを大切にしたい話し方）に当てはめて考えたり、言われたときの気持ちを考えたりする。
- 〈まとめ〉 学んだ話し方で、生活の場面にもどり、ペアで話し方を練習する。ワークシートに書く。

本時の展開

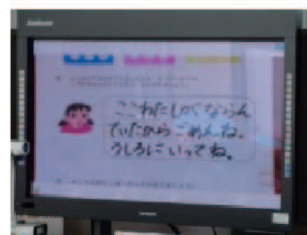
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 「横入りされそうになった時、どんな言い方をしたか」のアンケートを提示して、嫌な気持ちになったことを思い出して話し合う（静止画）。 アンケート結果の多いほうに赤でアンダーラインを引き、数字を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童によるアンケート結果
展開	<ul style="list-style-type: none"> 「大切にしている物を貸して」と言われた時の場面で、動画を一時停止し、顔の表情を拡大提示し、（3つの話し方）を見る（動画）。 3つの話し方に名前をつけて、特徴をまとめる。 それぞれの話し方で言われたら、どんな気持ちか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●DVD（3つの話し方の自作録画〈児童が役割演技〉）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答例（お互いの気持ちを大切にしたい話し方）を提示し、横入りされそうになった時の話し方を一人ひとりが自分で考え、自分の言葉でワークシートに書く（静止画）。 ペアで練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●児童によるアンケート結果 ●ワークシート



アンケート結果を提示し、嫌な気持ちになったことを思い出して話し合う



3つの話し方の動画を見て、どんな気持ちになるかを考える



児童が自分で考えたことばづかいで話し方をワークシートに書く

児童の反応・効果

- ・それぞれの場面で映像や写真があったので興味を持って取り組むことができ、また、気持ちを考えるときに役に立った。
- ・「今まではキャラクターAの言い方で言うこともあったけど、これからはCの言い方で言うようにする」という自らの姿を客観的に見つめ直そうとする児童の素直な反応がみられた。

活用のポイント

- ・3つの話し方を動画の映像で見ること、各場面の状況把握がしやすい。
- ・動画の一部（キーシーン）を写真にして見せ、板書に場面の跡を残すことで現実感が出る。